

# 希望をもって歩み出そう



阪神大震災で被災された皆様に  
謹んでお見舞いを申し上げます



特別号  
(第63号)

武庫川高等学校  
中学校  
総務部

## 阪神大震災の悲しみを越えて

学校長 梶原康史

このたびの阪神大震災の被害は余りにも大きく、惨状目を蔽うものがあります。生徒の皆さんや教職員のなかには、この災害で最愛の御家族を亡くされた方がおられ、断腸の思いがいたします。ここに謹んで哀悼の意を表します。

また、家屋の全焼、倒壊などによって家を失い、生活用品や学用品等を無くして、近親や知人のお宅に緊急避難している方々も多数おられ、心からお見舞い申し上げます。さらに、学校の被害や教職員の安否等について御見舞い下さいました保護者の皆様の御厚情に深くお礼申し上げます。

学校は、どの校舎も倒壊は免れましたものの、記念体育館、体育館の周辺を中心として液状化による土泥の噴出や地盤の陥没、地割れ、各所の欠損等が建物やグラウンド、校内各所に及びました。中でも特筆すべきは渡り廊下、暗渠になった地中の排水管等が致命的に破損をしており、やつと応急の措置を講じ、建物の安全チェック、トイレの対応などが完了しました。

水道、ガス、暖房用ボイラーやトイレの水、充分ではありませんが飲料水も用意出来ました。

交通機関はかなりの復旧が見られ、代替機関はあるものの、生徒の皆さんのお通学区域が広いため、なお、一部で大きな不便も残されたままになっています。

しかし、各方面の協力と教職員の努力で、不自由ながらもここに学校再開にこぎつけ得ました。当分は交通事情等を勘案して臨時の時間割で授業をすすめざるを得ませんが了承してください。大きな災害の悲しみをおさえて学業にいそしむ皆さんの姿に胸打たれるものがあります。生徒の皆さんは、どうぞお互いに励ましあい、いたわりあって、この困難と不自由を克服して、決して夢と希望を失わず、学業に精励してくれますよう期待いたします。

保護者の皆様には、何卒、学校の臨時措置を御了承賜わり、御協力のほどお願い申し上げます。

阪神大震災は瞬時に多くの生徒の生活を破壊し、苦境に落し入れました。この大地震で家を失なったり、交通が途絶して苦しんでいる生徒にどう救いの手を差し伸べればよいのか。猶予せず、具体的な行動を起こす必要がある差し迫った事態ですでの、試行錯誤を繰り返しながら、しかし懸命に努力をして参りました。

### 1. 生徒の安否の確認について

教職員が組織的に電話連絡・家庭・避難所訪問などをを行い、一月三十日に最後の一人の確認が出来ました。「生徒の死亡者なし」の最終報告に嬉びと安堵感が心の底から湧き上がっていました。

なお、一月二十一日には、臨時休業の措置等に関する保護者への文書を全生徒に郵送しました。

### 2. 被災生徒や交通が途絶した生徒について

家を失なったり、交通が途絶した生徒への対応として、むづみ寮・教職員宅に生徒を引き受けています。

また、通学が困難な生徒の実態調査のため教職員が通学路を実際に往復し、資料を集め、次の方策を講じました。

### 3. 今後について

登下校途中には、テレビ・新聞・ラジオ等では知り得ない危険な場所が無数にあります。

安全に通学するには

- ①自分で自分を守る習慣をつける。
- ②安全を第一にした服装・カバン・靴・帽子・手袋を着用する。

③身分証明書(紛失しておれば再発行)や健康保険証の写しを常に携行する。

- ④出来るだけ水・弁当は持参する。
- ⑤万一小のため薬品を準備しておく。

⑥自転車を利用する場合は、交通・道路事情に特に注意する。

- ⑦上下校、学校生活などで困ったことがあれば、すぐにお担任と相談する。

最後に、バントントワーリング部が全国大会に参加することになつたが、震災のため非常に残念ですが辞退しましたことをご報告いたします。

## 生徒への対応について

指導部

## 三学期の授業・行事

教務部

一月十七日、大規模な地震発生に対応してとりあえず二十一日までを臨時休校とし、その間に被害の状況の把握に努めた結果、生徒・教職員の罹災者が多く、学舎や生徒の登下校の安全性などを考慮して、二月十日までを引き続いて臨時休校と決定しました。今日から学校が再開されますが、いろいろな点で、三学期の授業・行事が変更になります。

### 1. 授業について

神戸と西宮をつなぐ鉄道が寸断され、他地区でも十分に交通機関の回復がなされていない状況です。そこで、しばらくの間、次の形で授業を行います。

#### ◇始業時刻 九時三十分

◇授業 午前中三時間授業

神戸の北部、神戸より西部の地区の生徒は特に交通機関が大変混雑していますので、安全には十分注意し、無理をしないようにして登下校するようにしてください。

臨時休校の期間が長かったので、今後、行事などを簡素化し、授業の時間をできるだけ増やすようにします。

#### ◇高三は期末考査は行いません

◇高二以下は状況を判断して、後日連絡します。

#### 2. 期末考査について

◇高校入試は二月二十六日・七日に中学入試は三月一・二日に変更になりました。そのため行事の組み替えが行われています。新しく配布される行事予定表に十分注意してください。

◇高校の卒業証書授与式は三月八日に行う予定です。

#### 3. 行事について

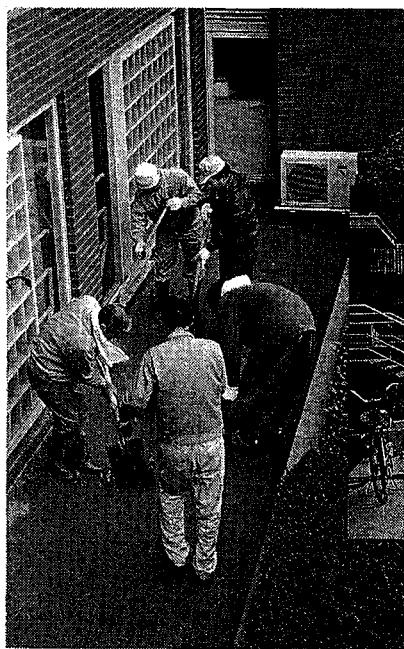
授業がはじまつても、教科書、文房具、鞄などがない人もたくさんいることだと思います。困っていることは何でも担任に相談してください。また生徒の皆さんとの間で、お互いに助けあってください。

交通事情なども日々刻々変化します。そこで三学期の学校生活は、それぞれの状況に即応して変更が行われます。各種の変更に柔軟に対応してください。

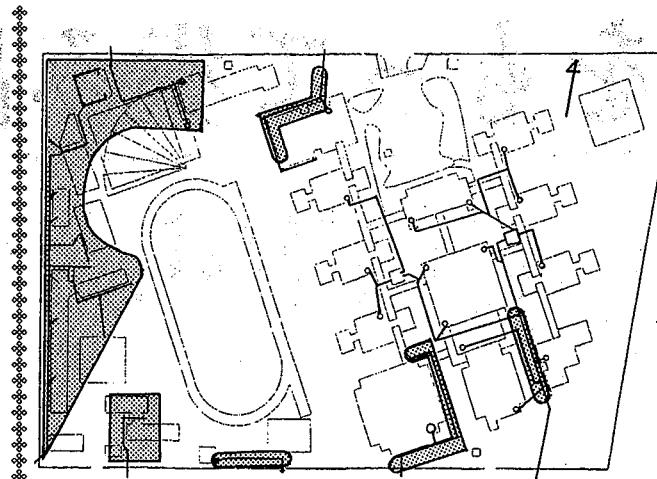
臨時休校の間に校舎・設備の安全点検は十分に行ってありますが、それでも不備な個所、不便な点がいくつかあります。しかしそのよろんな状況に負けないで、しっかり気持ちを引き締めて三学期の学習に励んでください。



懸命に復旧作業に取り組む  
(竹中工務店) (上・下)



液状化現象で吹き出した  
泥土を片付ける(左)



- ①施設、設備の破損箇所の確認と補修。  
②水、ガスなどのライフラインの確保。  
地中のため、目には見えませんでしたが図の部

## 復旧に向けて

総務部

施設、設備を復旧し、授業再開をめざして次のように対応しました。

- ③十三日よりの食堂の営業。  
④むつみ寮の整備。

分の排水管が壊滅的で、生活用水の排水が不可能でした。そのため、仮設排水溝の工事が、二日なってやっと完了しました。

（生徒の被災状況・2/9現在）

	家族死亡	家族けが	家屋全壊	家屋半壊
中 1	0	2	14	16
中 2	3	2	11	12
中 3	2	4	6	20
中学計	5	8	31	48
高 1	0	0	5	16
高 2	6	5	6	36
高 3	2	0	18	19
高校計	8	5	29	71
合計	13	13	60	119

## 心のケアーを

### 灾害のあとに

カウンセリングルーム

災害は、人体や財産に被害を与えるだけでなく、人の心の奥深くまで傷つけます。心の傷は不眠、失感情、悪夢、情緒不安、無気力など、さまざまな心身の不調を生じさせます。これは、被災した人なら誰にでも起こり得るものです。

なかでも感受性の強い思春期の子どもたちが受けた心の傷は計りません。

被災された保護者の方々も、生活のめどが立たず大変なご苦労をされているとは思いますが、ショックを受けた子どもの心理的苦痛を和らげるために、

何よりもじっくり話を聞き、受けとめてあげるようにしてあげてください。

心にふたをして感情を閉じこめてしまうより、言葉として表現したほうが、心の傷の回復は早いのです。

子どもの心理状態についての不安や悩みは、カウンセラーや臨床心理士にご相談下さい。

電話 0798-47-6436 (10時~4時)  
尚、生徒にはパンフレットを配付します。

## 善意に感謝

この度の被災に対して、多くの方々からお心のこもったお見舞をいただきました。お届けいただきました義援金は一五一万七千円にもものぼりました。

その中には、千葉県松戸市の牧野原中学校の生徒の皆さん方が集めてくださった十四万七千五百二十五円、また、本校のソフトテニス部がお世話になった一宮市の萩原町から寄せられたもの、小さな親切運動本部からのお見舞金も含まれています。

皆様からのお心のこもったこの義援金は、被災された方々のために有意義に使わせていただきたいと思っています。

皆様からのご厚情に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

## 【計報】

この度の阪神大震災により、次の学院関係者が亡くなられました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

〔職員〕

教育学科

英米文学科

事務局

猪木 聰子先生

松本 剛先生

廣瀬 哲夫さん

〔学生〕	大学・国文	村田 恵子さん(四年生)
短大・食物	岩間 知子さん(二年生)	
短大・食物	泉 加奈子さん(一年生)	

## ●後記●

新年より紙面を刷新すべく準備を進めていた矢先

の大震災でした。今号は「特別号」といたします。

一月号に掲載を予定していた記事の大半は二月号で

お届けできると思われます。▼中国に「患難知交」という諺があります。困難な時に交わす友情こそ本物だという意味です。テレビのインタビューに答えて神戸市東灘区の中学校の校長先生は「生徒たちは、

学校で学べないことを今確かに学んでいます。」とおっしゃっていました。▼本校でも被害の少なかつた生徒さんから「学校は大丈夫ですか。何かお手伝いすることはありますか。」という連絡が相次ぎました。本当に嬉しいことでした。▼震災で失つたものは計り知れませんが、震災を通して私たちが学んだ事を、決して無駄にすることのないようにしたい

ものです。▼厳しい寒さが続きます。くれぐれも御自愛下さいますよう。そして、被災された方には、御心共に一日も早いご回復をお祈り申し上げます。

## 【行事予定表】

日	曜	行 事 内 容
2/13	月	授業再開(9:30、LHR、TV朝礼、清掃) 高3 大学・短大合格通知書交付 大学・短大入学金等納入(～20日)
14	火	普通授業(午前中3時間 ～18日)
18	土	LHR、授業2時間(特活なし) 20日以降の始業時刻・授業時間発表
20	月	普通授業(指定時間割り ～21日)
22	水	高3授業3時間(指定時間割り) 高2以下普通授業(指定時間割り)
25	土	創立記念日 高3HR、清掃、入試準備 高2以下HR、1時間授業、清掃(特活なし)
26	日	高校入試
27	月	高校入試 高3自宅学習 高2以下午前中授業3時間
28	火	中学入試準備 (高3授業40分3時間、入試準備) 高2以下授業40分6時間、入試準備)